

編集後記

われわれが新人だった頃、回診前の写真見せの時にはプレゼンに必要な X 線画像を選択し、まずはそれを順序立ててシャウカステンに並べるのが仕事だった、ということを専攻医に話したことがありました。彼らは何とシャウカステンを見たことはあるが使ったことはないとのことでした。逆に「シャウカステンとはどういう意味ですか」と聞き返されましたので、過去の医学用語の多くがドイツ語由来であり、シャウカステン Schaukasten もドイツ語の schauen (見る) と Kasten (箱) からなる言葉であると伝えました (英語なら film viewer で、こちらの方がわれわれの頭にもスッカリ入ります)。このような時代ですので、今の若手は人工関節や骨切り術などの術前計画にシャウカステンを使い、X 線画像を透かしてトレーシングペーパーで作図する、いわゆる paper operation をする機会はほとんどないのかもしれませんが。アナログ時代のわれわれからすると「paper operation が一番大事!」と言いたくなるかもしれませんが、時代は常に変化しているのです。

さて9月増大号の特集は、森崎 裕先生ご企画の「医療 DX」です。DX はもちろんデジタルトランスフォーメーションの略です。厚生労働省のホームページによると、医療 DX の目的は、DX を通じたサービスの効率化や質の向上により、① 国民の更なる健康増進、② 切れ目なくより質の高い医療等の効率的な提供、③ 医療機関等の業務効率化、④ システム人材等の有効活用、⑤ 医療情報の二次利用の環境整備の5点の実現を目指すものと示されております。しかし、このような国家的戦略のみならず、われわれの日常診療には

大なり小なり様々な DX が浸透しており、日々進化していることを本特集号を読んで改めて認識しました。個人的には北原先生が紹介された「整形外科これだけ」アプリが興味深く、さっそく会員登録させていただきました。内容に関しては読者の皆様方も登録し確認していただければと思いますが、これからはこのようなデジタルツールを駆使して、教育や学習、業務管理を行っていくことになるのでしょう。冒頭に書いたように「われわれの時代は……」など言っていると、研修医には相手にされなくなるでしょう。

病院の業務効率の向上や医療安全対策に必須となった医療 DX ですが、反面、病院は常にサイバー攻撃の標的となります。2022年に大阪の公立医療機関がランサムウェアによる被害を受けたことは記憶に新しいところですが、これにより電子カルテが暗号化され診療停止を余儀なくされました。われわれは電子カルテはインターネットから切り離されているから安全であると誤解しておりますが、先の医療機関は給食委託業者の VPN (virtual private network) 装置から侵入されたとのことです。医療 DX が進み、各種手術のプランニングや手術ロボットのメンテナンスなども外部業者に委託しなければなりません。今後ますます医療現場におけるセキュリティ対策は複雑化していくものと思われます。本誌でもサイバー攻撃とセキュリティ対策といった特集を組まなければならない時が近いように来るかもしれません。

(石橋恭之)

「整形・災害外科」第67巻 第10号 (9月増大号) 2024年9月1日発行 (毎月1回1日発行) 定価 5,060 円 (本体 4,600 円 + 税 10%) 年間購読料金 定価 45,980 円 (本体 41,800 円 + 税 10%) [年間13冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代] [年間予約購読者に限り送料無料]	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 (株) 文京メディカル TEL 03(3817)8036
---	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。